

令和2年度

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	55%	45%	0%	・利用定員に対し、十分なスペースが確保されているがメンバーによっては広すぎると落ち着いて活動できない事がある。 ・利用人数が曜日によって異なり、クラス人数も差があるため状況によってクラスを再編成して対応している。
	②	職員の配置数は適切であるか	35%	65%	0%	・配置数は基準以上であるが、個別対応を要する児童が増えてきおり、振替職員等によっては対応が難しい時もある。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	85%	10%	5%	・スロープ等はあるが、手すりが少ないと感じる。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	100%	0%	0%	・毎日のミーティング、ケアカンファレンスで周知している。 ・定期で行われる各種会議やミーティングにてPDCAサイクルにて参画している。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	100%	0%	0%	・アンケートの配布、集計・評価を行い、業務改善に繋げて取り組んでいる。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	95%	5%	0%	・ホームページ、事業所のおたよりで公開。学校等関係機関向けのアンケート結果については、通知文書にて報告している。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	95%	5%	0%	・第三者評価委員による評価を毎年度実施している。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	55%	40%	5%	・“研修”という形ではないが、何か問題等が起きた時にはその都度ミーティングで話し合いをしている。 ・今後は、感染状況を見ながら外部研修を含め各種研修を充実させていく。
適切な 支援の 提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	100%	0%	0%	・丁寧なアセスメント作成を心がけ、ニーズ等を反映して発達段階に応じて課題を分析し作成している。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	80%	15%	5%	・S-M社会生活能力検査をベースに取り組んでいる。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	90%	10%	0%	・児童発達管理責任者、クラスリーダー、担当職員を中心に意見をまとめ、立案している。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	90%	10%	0%	・基本プログラムと個別課題などを組み合わせながら、季節に合わせた活動等も取り入れ実施している。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	75%	25%	0%	・利用児童の特性も考慮し、バリエーション多くプログラムを設定している。長期休暇中は職員人数に応じて対応を工夫している。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	100%	0%	0%	・サポート会議やクラス担当でのミーティングで内容を検討し工夫している。個別活動では、クラス単位で行い、集団活動は異年齢での関わりの場面を設定している。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	100%	0%	0%	・事前に、前日の振り返りをミーティングにて行っている。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	95%	5%	0%	・申し送りノートを活用し、翌日に打ち合わせ等で職員間で共有している。 ・前項目⑮と一緒に実施している。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	95%	5%	0%	・サービス提供書を用いて丁寧にしている。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	100%	0%	0%	・モニタリングを定期的に行い、見直しについて判断している。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	85%	15%	0%	・十分に対応している。

関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	100%	0%	0%	・児童発達管理責任者及び担当職員が参画している。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	100%	0%	0%	・複数の学校機関と調整するため複雑なところもあるが、児童発達管理責任者を中心にミスなく対応できるよう申し送りや職員間の連携を重視し対応している。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	85%	10%	5%	・医療情報提供書(Dr. 記入)を提出していただき、確認している。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	65%	35%	0%	・就学前に情報共有している。 ・併設する児童発達支援事業所からの以降が大半。ただし就学先や相談機関、併用事業所とは十分な連携を図っている。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	90%	10%	0%	・卒業後の移行先の職員とも移行支援の連携を図っている。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	50%	50%	0%	・例年、行政や関係機関との協力及び合同企画でのセミナー開催や交流、研修受け入れなど実施しているが、コロナの影響で中止となっている。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	10%	25%	65%	・計画は立案していたが、今年度はコロナの影響で交流会等はほぼ中止となっている。 ・行事などでお招きする機会を作りたい。
	㉗	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	35%	55%	10%	・ワーキング部会や連携会議等に参加。自立支援協議会へは施設長が参加。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	100%	0%	0%	・サービス提供書や登降園時、送迎時、面談時、その他必要に応じて児童の状況や分析した課題について伝えている。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	60%	20%	20%	・未就学対象ではあるが、就学児の保護者も参加し、そこにサブファミリーで放デイスタッフに入ってもらっている。 ・就労している保護者も多いため、放デイ保護者を中心としては行っていない。
保護者への説明責任等	⑳	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	100%	0%	0%	・自由分に対応している。掲示物やお知らせ文書でも分かりやすいようにレイアウトを工夫している。
	㉑	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	100%	0%	0%	・随時面談等必要に応じて個別に対応し、話しやすい環境設定にも気を配っている。
	㉒	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	15%	50%	35%	・他施設への見学会や園内の行事等を行っている。 ・就学児の保護者会は組織されていない。コロナの影響で行事等も例年通りではなかった為、保護者同士の交流がなかなかできなかった。
	㉓	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	100%	0%	0%	・丁寧に行っている。苦情等があった場合には、その内容や改善策などについて公表する体制となっている。
	㉔	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	95%	5%	0%	・園だよりを発行し、予定の他にも写真をカラーで掲載し子どもたちも楽しめるよう工夫している。
	㉕	個人情報に十分注意しているか	100%	0%	0%	・遵守している。
	㉖	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	100%	0%	0%	・個別支援計画で配慮方法等を検討し実践している。
	㉗	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	10%	40%	50%	・コロナの影響で行事等が中止となってしまった。 ・地域住民を招待する等は行っていないため、今後計画していくべき課題だと感じる。
	㉘	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	90%	10%	0%	・十分に取り組んでいる。感染症に関しては内部研修やスタッフが意義を確認を行い、家族向けにはお便り等で周知を図っている。
	㉙	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	100%	0%	0%	・避難訓練を定期的に行っている。

非常時等の対応	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	90%	10%	0%	・虐待防止、合理的配慮、権利擁護、コンプライアンスなど研修の機会を確保し実践している。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	25%	40%	35%	・契約書の中には記載しているが、身体拘束の事例がなく、今後も身体拘束は行わないが、万が一の場合は、緊急時に限り保護者の同意を得て施設長の指示のもと対応する。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	90%	5%	5%	・管理栄養士と連携して対応している。 ・指示書を家族から提出してもらい対応。 ・現在アレルギー対応はない。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	95%	5%	0%	・ヒヤリハット一歩手前の気付いたことを記入するものがあり、周知しながら事故を未然に防ぐ努力をしている。 ・事例集を会議、回覧している。

○この放課後等デイサービス自己評価表は、放課後等デイサービスの事業所の職員の方に、事業所の自己評価をしていただくものです。

「はい」、「どちらともいえない」又は「いいえ」のいずれかに「○」を記入するとともに、「工夫している点」、「課題や改善すべき点」等について記入してください。